

令和 7 年度環境放射線等測定結果

(島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺)

令和 8 年 9 月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和7年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和7年4月から令和8年3月までの監視結果について、鳥取県原子力安全顧問における確認（令和8年3月実施鳥取県原子力安全顧問会議等）を経てとりまとめたものです。

目 次

まえがき

令和7年度平常時モニタリング測定結果

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1	目的区分	1
2	測定概要	1
(1)	概要	1
(2)	実施機関	1
(3)	実施内容	1
(4)	測定結果の評価方法	1
3	令和7年度測定結果	6
(1)	測定結果概要	6
(2)	測定項目別の結果	14
4	令和8年度の平常の変動幅の設定について	27
(1)	空間放射線	27
(2)	大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定（固定型モニタリングポスト）	27
(3)	環境試料中の放射性核種分析	28
(4)	令和7年度までに測定終了した項目【参考】	30

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1	目的区分	32
2	測定概要	32
(1)	概要	32
(2)	実施機関	32
(3)	測定項目等	32
(4)	測定結果の評価方法	32
3	令和7年度測定結果	36
(1)	測定結果概要	36
(2)	測定項目別の結果	40
4	令和8年度の平常の変動幅の設定について	47
(1)	空間放射線	47
(2)	大気浮遊じん全 α 放射能、大気中フッ素の連続測定（固定型モニタリングポスト）	47
(3)	環境試料中の放射性核種分析	48
(4)	令和5年度までに測定終了した項目【参考】	49

【Ⅲ 平常の変動幅超過に係る検証】

検証1	令和7年5月分の米子局の降下物のCs-137の変動幅の超過について	53
-----	-----------------------------------	----

【Ⅳ 参考資料】

1	島根原子力発電所の状況	58
(1)	島根原子力発電所の施設状況	58
(2)	島根原子力発電所の運転実績	58
(3)	島根原子力発電所における放射性廃棄物放出実績	59
2	人形峠環境技術センターの状況	60
(1)	人形峠環境技術センターの廃止措置状況	60

(2) 施設の排気・排水の監視測定結果	61
3 可搬型モニタリングポストの稼働・通信訓練の結果	63
(1) 概要	63
(2) 結果概要	63
4 島根原子力発電所周辺における積算線量の経時変化	64
5 島根原子力発電所周辺における環境試料中の人工放射性核種の経年変化	65
(1) セシウム 137	65
(2) トリチウム	69
(3) ストロンチウム 90	70
6 人形峠環境技術センター周辺における積算線量の経年変化	72
7 人形峠環境技術センター周辺における環境試料中の放射性核種の経年変化	73
(1) ウラン 235	73
(2) ウラン 238	74
8 環境試料の測定結果に基づく預託実効線量（成人）	76
9 環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	77
(1) 島根原子力発電所周辺	77
(2) 人形峠環境技術センター周辺	82
10 気象測定結果	83
(1) 島根原子力発電所周辺	83
(2) 人形峠環境技術センター周辺	90
11 平常の変動幅の上限を超過した場合の要因調査等の方法	95
12 用語集	98

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「(参考)」として測定を継続する。

- ④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え
(参考) 環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

(1) 概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

(2) 実施機関

鳥取県原子力環境センター
民間測定事業者（委託分析）

(3) 実施内容

平常時モニタリングは、令和7年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表Ⅰ－２－１のとおり。

イ 測定地点

図Ⅰ－２－１、図Ⅰ－２－２のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表Ⅰ－２－２のとおり。

(4) 測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表 I - 2 - 1 令和 7 年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
空間放射 線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館)	7	連続測定	—	NaI (TI) シンチレーション検出器 (可搬型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」
積算線量	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局) 境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市彦名町(彦名公民館)	9	4～6 月 7～9 月 10～12 月 1～3 月	36	蛍光ガラス線量計	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を 用いた環境 γ 線測定法」

※ 7カ所に設置している可搬型モニタリングポストは、緊急時における OIL 判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

2 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん 放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検 出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定 法」 JISZ4316 「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的 区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ 核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」
				米子市河崎 (米子局)			12				
降下物	降下物	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」
				米子市河崎 (米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3 年毎 年 2 回	R8				γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカ ウンタ Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」
				米子市河崎		R9					
		原水	④	米子市福市		5,11 月	2	2	2		
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年 1 回	10 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」
				米子市夜見町	年 1 回	10 月	1				
土壌	公園	表層	④	境港市馬場崎町	2 年毎 年 1 回	7 月	1		1	γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析 法」
	グラウンド		④	米子市河崎		R8					
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町	2 年毎 年 2 回	5,11 月	2	2		γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーションカ ウンタ	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」
				米子市大篠津町		R8					
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年 1 回	10 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」
	白ネギ	可食部	(参考)	境港市中海干拓地	年 1 回	12 月	1				
	ダイコン	根	(参考)	境港市中海干拓地	年 1 回	12 月	1				
海産生物	ワカメ	可食部	(参考)	境港市近海	年 1 回	4 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器 による γ 線スペクトロメトリ」
	イワガキ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	7 月	1				
	セイゴ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	1 月	1				
	ナマコ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	3 月	1				
合計							62	4	3		

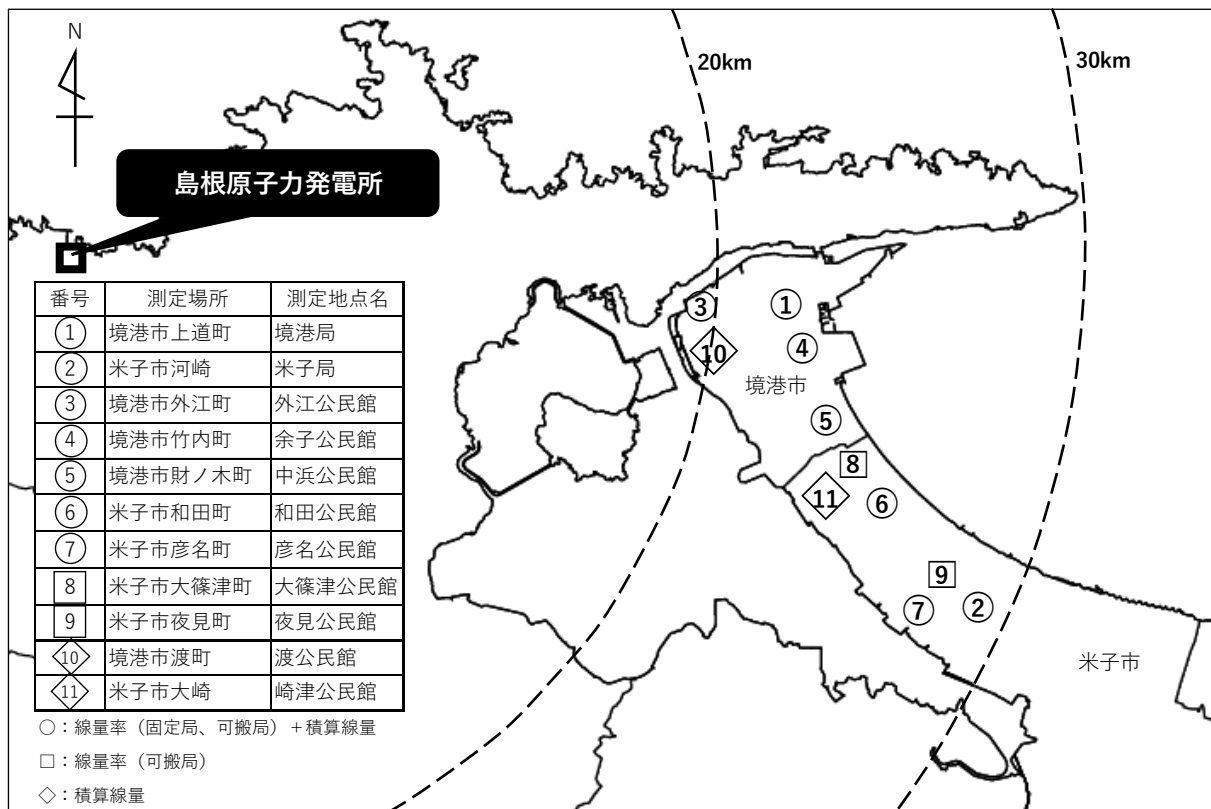


図 I - 2 - 1 空間放射線量率測定地点

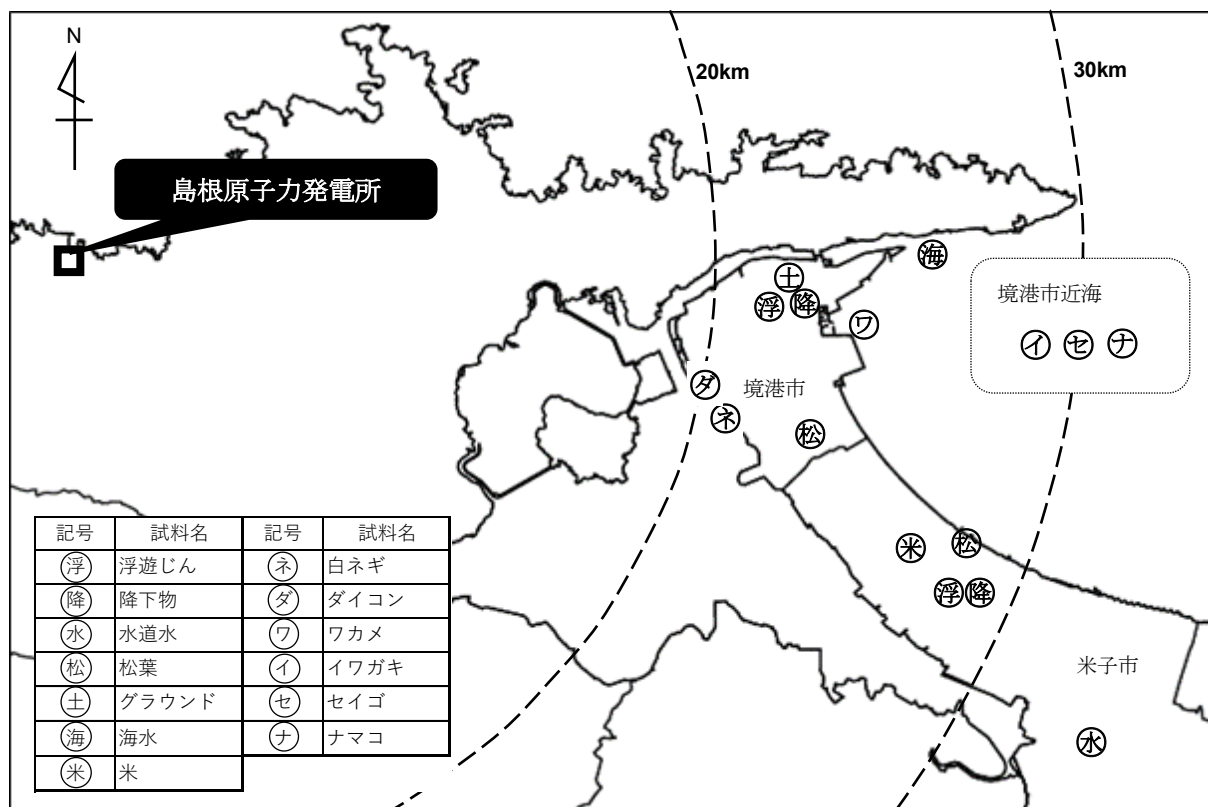


図 I - 2 - 2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目			測定方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3
	積算線量	積算線量計	3ヶ月間毎の連続測定 放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線測定法」	蛍光ガラス線量計(RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「全 β 放射能測定法」JISZ4316 「放射性ダストモニタ」 (200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ 線スペクトロメトリー 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イージーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/		
	海産生物	灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	土壌		放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和7年度測定結果

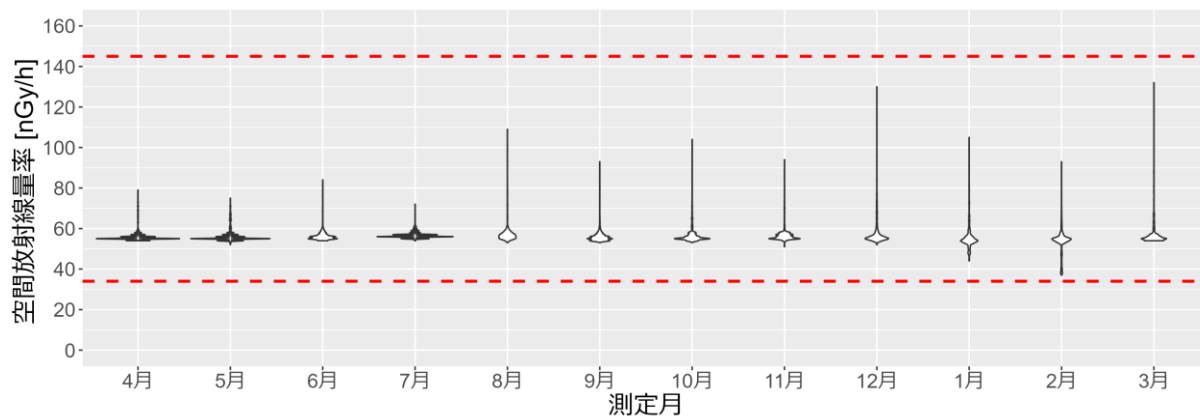
(1) 測定結果概要

令和7年度の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

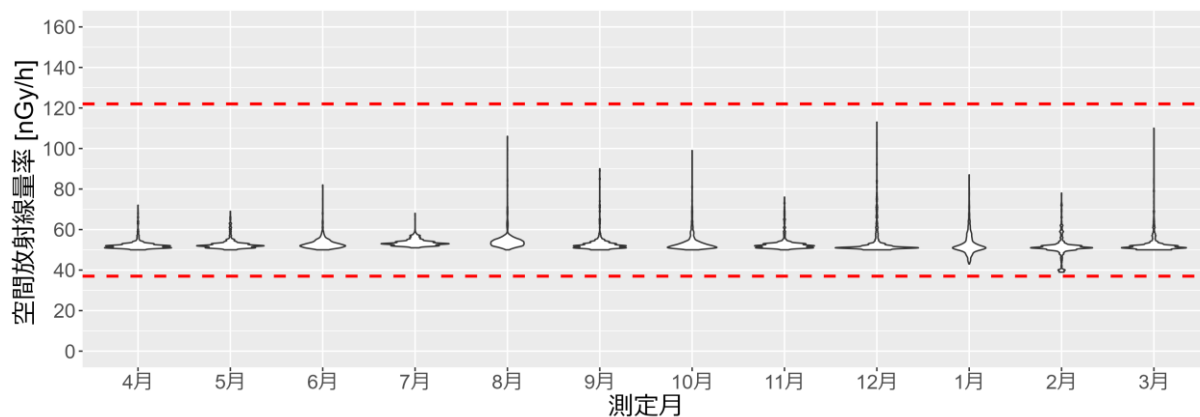
ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局



米子局

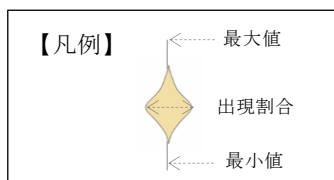
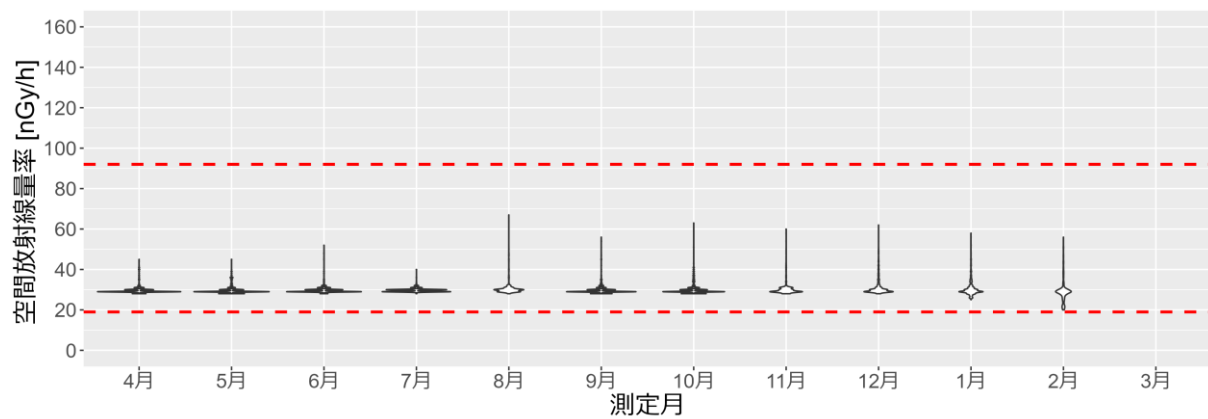
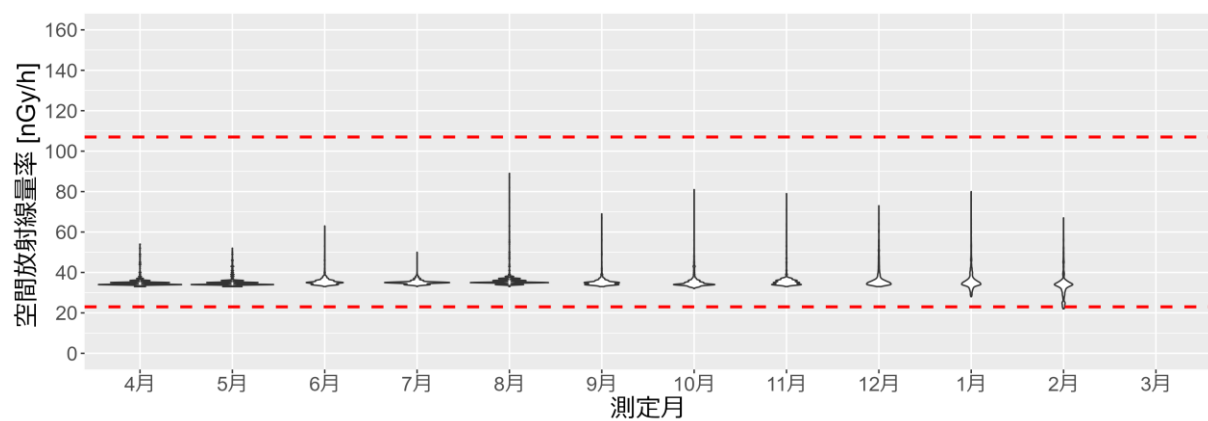


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 可搬型モニタリングポスト 7 地点の空間放射線量率連続測定結果は、全て平常の変動幅の範囲内であった。なお、全地点において令和 8 年 2 月 12 日を以って終了し、電子式線量計に切り替えた。



外江公民館



余子公民館

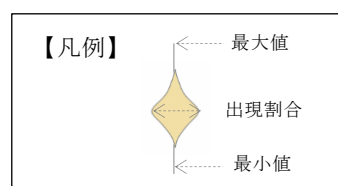
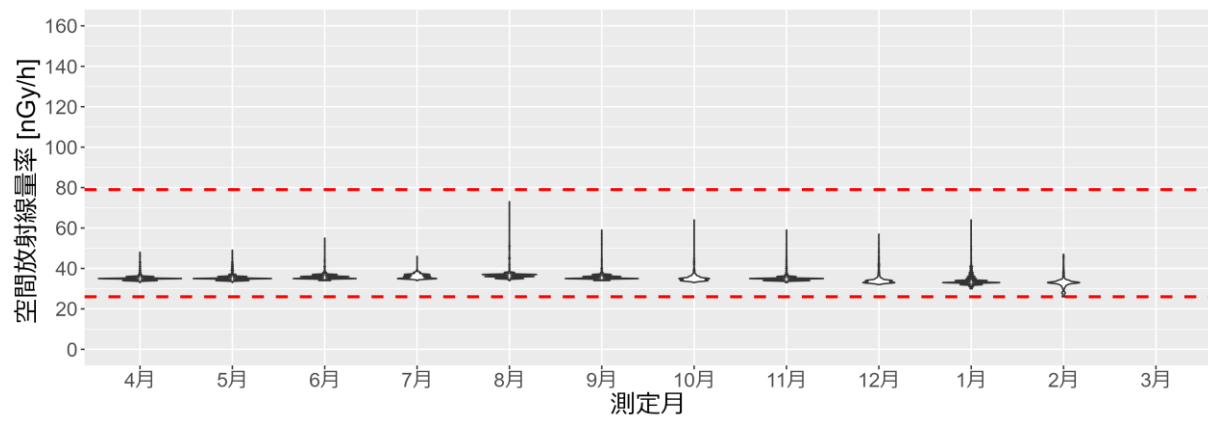
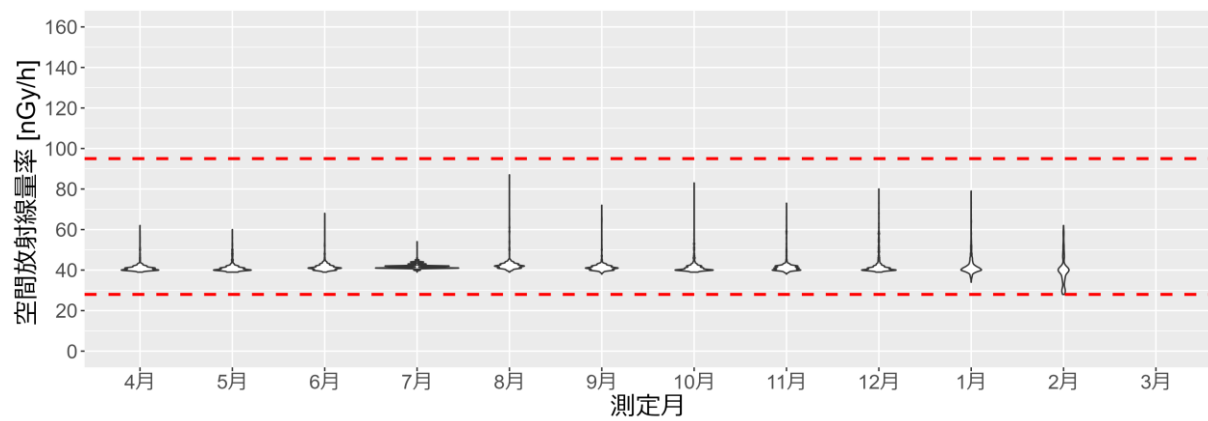


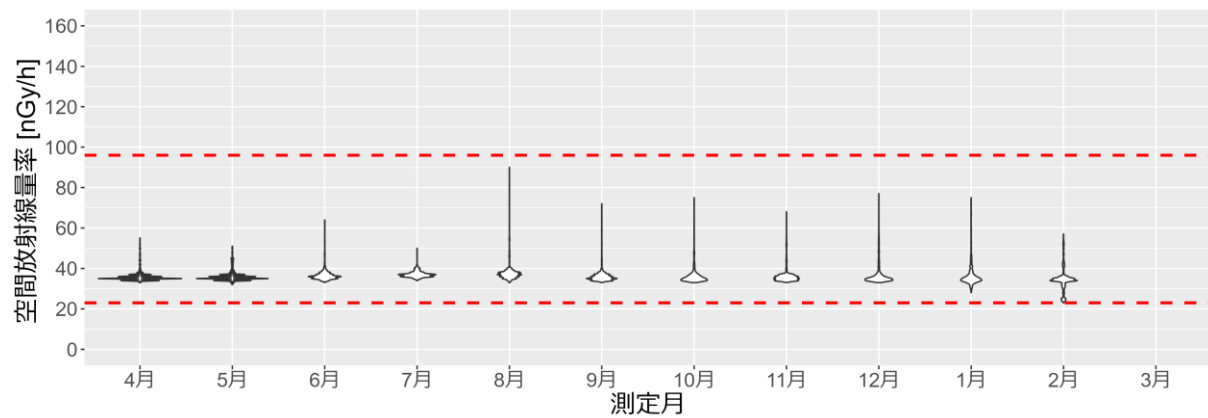
図 I - 3 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

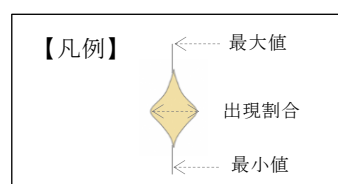
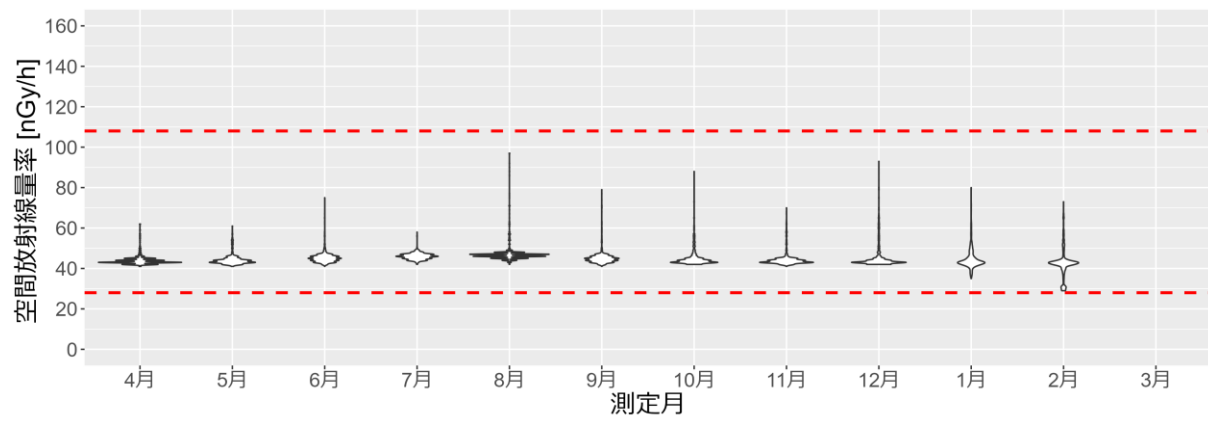
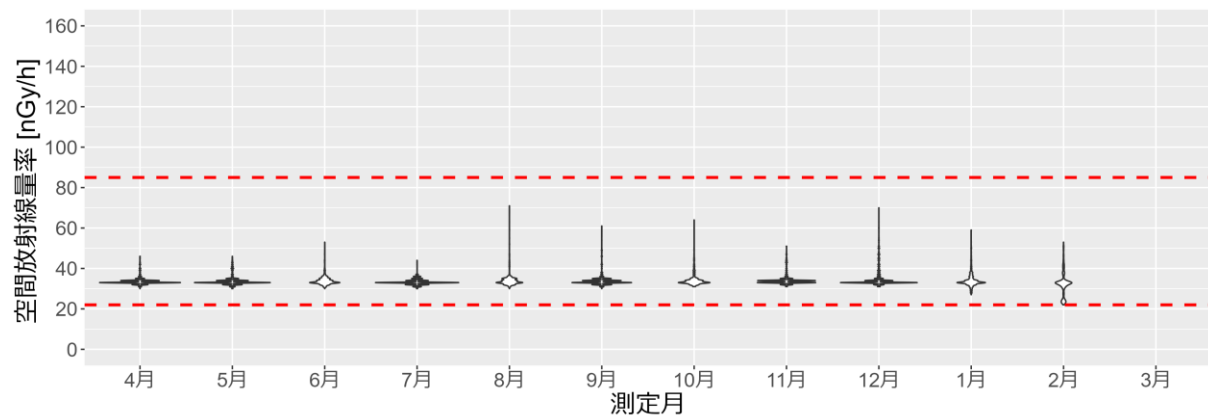


図 I - 3 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果（可搬型モニタリングポスト）



夜見公民館



彦名公民館

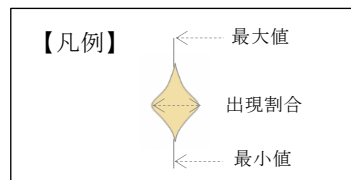


図 I - 3 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

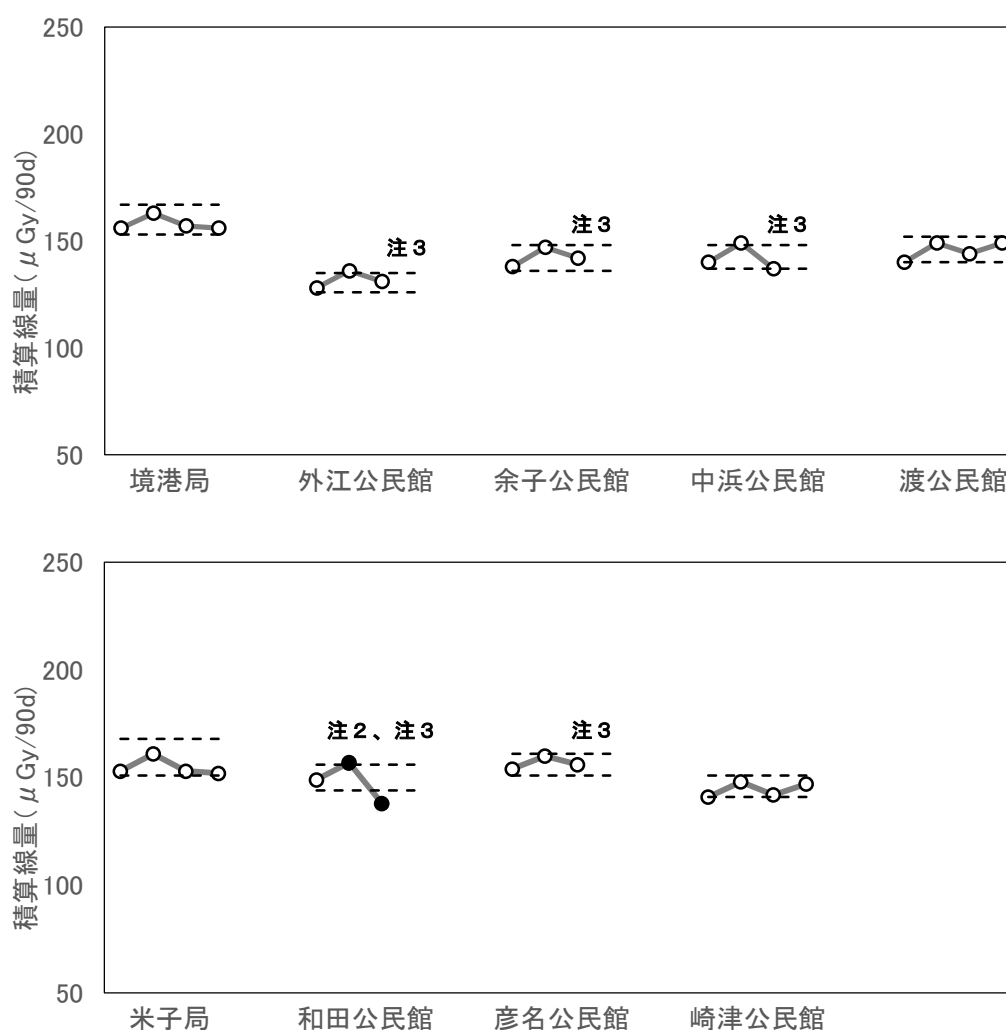
(イ) 積算線量測定

境港局、余子公民館、渡公民館、米子局、彦名公民館及び崎津公民館の6地点については、平常の変動幅の範囲内であった。

外江公民館及び中浜公民館の2地点は、第2四半期に平常の変動幅の上限をわずかに超過したが、これまでの測定結果と同レベルであり、周辺環境の変化が確認されなかったことから、自然変動によるものと考えられた。

和田公民館の第2及び第3四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とした。

なお、5地点の公民館（外江、余子、中浜、和田、彦名）については、可搬型モニタリングポストから電子式線量計への切り替えに併せて、積算線量計を撤去したため、第3四半期を以って終了した。その他の地点においても第4四半期を以って終了した。



- 注1：○は測定結果、●は参考値、点線は平常の変動幅を示す。
 注2：和田公民館の第2,3四半期は、RPLD 収納箱の修繕等の影響が疑われるため参考値とする。
 注3：測定機器切替作業に併せて、積算線量計を撤去し終了した。

図 I - 3 - 2 積算線量の測定結果

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

第1四半期の米子局の大気浮遊じん全 α 放射能の最高値(1,814 mBq/m³)について、平常の変動幅の上限(1,798 mBq/m³)を超過した。平成26年度の測定開始からの測定実績は5 ~ 2,481 mBq/m³で、過去の測定範囲内にあることから、一時的にラドン子孫核種の影響が全 α 放射能の変動に影響した可能性があると考えられた。

境港局の大気浮遊じん全 α 放射能及び全 β 放射能並びに米子局の大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,466	11	6 ~ 1,616	mBq/m ³
	米子局	<u>1,814</u>	11	5 ~ 1,798	
全 β 放射能	境港局	3,710	29	18 ~ 4,729	
	米子局	4,342	32	18 ~ 4,800	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R02~R06年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

注3：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

米子局で採取した降下物からCs-137(4月:0.18 MBq/km²、5月:0.48 MBq/km²)が検出され、5月分が平常の変動幅の上限(0.18 MBq/km²)を超過した。このことから要因調査を行ったところ、要因の1つとして米子局周辺の圃場の土が混入したことによる影響などが考えられた(Ⅲ 検証1参照(p53))。

境港市及び米子市で採取した植物(松葉)からCs-137(境港市:0.45 Bq/kg 生、米子市:0.077 Bq/kg 生)が検出されたが、いずれも平常の変動幅の範囲内(境港市:0.18 ~ 0.79 Bq/kg 生、米子市:0.071 ~ 0.18 Bq/kg 生)であった。

米子市から採取した農産物(米)からCs-137が検出されたが、過去の大気圏内核実験フォールアウト等の影響によるものと考えられた。また、検出されたCs-137(0.10 Bq/kg 生)は、平常の変動幅の下限值(0.13 Bq/kg 生)を下回った。

境港市近海で採取した海産生物(セイゴ)からCs-137が検出されたが、平常の変動幅範囲内(0.10 ~ 0.20 Bq/kg 生)であった。

その他の試料の分析結果では、測定対象物質は検出されなかった。

表 I-3-2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24	ND	ND	ND	ND		ND	0.18, 0.48 ^{注1,2}	MBq/km ²
陸水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077, 0.45	Bq/kg 生
土壌	1	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	2	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	Bq/kg 生
海産生物	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	Bq/kg 生

注1：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

注2：NDはCooperの方法による検出下限値未満を示す。

注3：要因の1つとして米子局周辺の圃場の土壌による影響の可能性が考えられる。

(イ) トリチウム分析

陸水から H-3 (0.32 Bq/L) が検出されたが、他測定地点の平常の変動幅の範囲内であり、水道水の過去の測定結果と同レベルであった。

海水からは H-3 は検出されなかった。

表 I-3-3 トリチウム (H-3) の分析結果の概要

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	(令和8年度 測定予定)	ND～ 0.47	(令和9年度 測定予定)	ND～ 0.37	0.32	ND	Bq/L
						ND		

区分	試料	境港市昭和町地先		米子市大篠津町地先		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅	
海水	海水	ND	0.14 ～ 0.18	(令和8年度 測定予定)	ND～ 0.39	Bq/L
		ND				

注1：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

注2：NDは検出下限値（計数誤差の3倍(3 σ)）未満を示す。

(ウ) 放射化学分析 (Sr-90)

今年度より測定を開始した米子市福市の陸水の Sr-90 測定結果は、0.60 及び 0.64 mBq/L であった。全国の環境放射能水準調査における蛇口水の Sr-90 測定結果 (ND ～ 2.6 mBq/L) と比較して同レベルであり、過去の核実験フォールアウト等の影響と考えられた。

また、境港市の土壌 (公園) については、Sr-90 が検出されなかった。

表 I-3-4 ストロンチウム (Sr-90) の分析結果の概要

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	
陸水	水道水	(令和8年度 測定予定)	1.0～ 1.1	(令和9年度 測定予定)	0.73～ 0.78	0.64	(R07～)	mBq/L
						0.60		

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	ND	0.30 ～ 0.43			Bq/kg 乾土
	グラウンド			(令和8年度 測定予定)	ND～ 0.47	

注1：NDは検出下限値（計数誤差の3倍(3σ)）未満を示す。

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I－3－5 固定型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

(単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	79	75	84	72	109	93	104	94	130	105	93	132	132	145
	最低値	54	52	54	54	53	53	53	51	52	44	37	54	37	34
	平均値	56	56	56	57	58	57	57	57	58	56	54	57	57	—
米子局	最高値	72	69	82	68	106	90	99	76	113	87	78	110	113	122
	最低値	50	50	50	51	50	50	50	50	50	43	39	50	39	37
	平均値	52	53	53	54	55	53	54	53	54	53	51	53	53	—

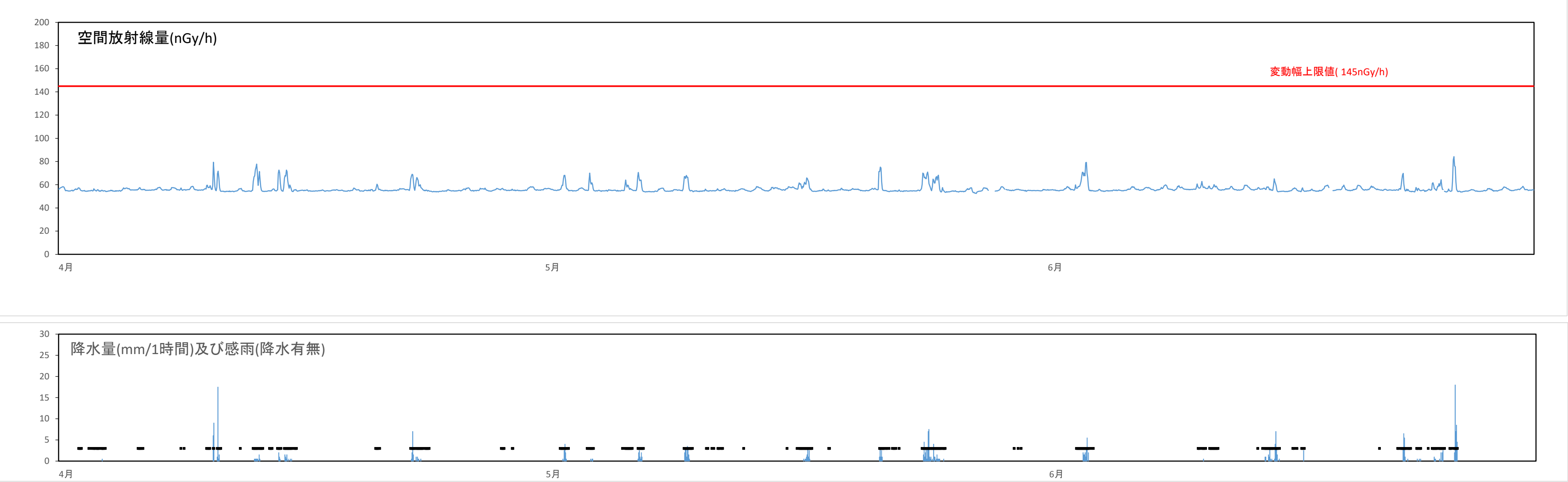
注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。

表 I－3－6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）
 (単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江 公民館	最高値	45	45	52	40	67	56	63	60	62	58	56	－	67	92
	最低値	28	28	28	28	28	28	28	28	28	25	20	－	20	19
	平均値	30	30	30	30	31	30	30	30	32	31	29	－	30	－
余子 公民館	最高値	54	52	63	50	89	69	81	79	73	80	67	－	89	107
	最低値	33	33	33	33	33	33	32	33	33	28	<u>22</u>	－	22	23
	平均値	35	35	36	35	37	36	36	36	38	36	34	－	36	－
中浜 公民館	最高値	48	49	55	46	73	59	64	59	57	64	47	－	73	79
	最低値	33	33	34	34	34	34	33	33	32	30	26	－	26	26
	平均値	35	36	36	36	37	36	36	36	35	34	33	－	35	－
大篠津 公民館	最高値	62	60	68	54	87	72	83	73	80	79	62	－	87	95
	最低値	39	39	39	39	39	38	39	38	39	34	28	－	28	28
	平均値	41	41	42	42	43	42	42	42	43	42	40	－	42	－
和田 公民館	最高値	55	51	64	50	90	72	75	68	77	75	57	－	90	96
	最低値	33	32	33	34	33	33	33	33	33	28	23	－	23	23
	平均値	36	36	37	37	38	36	36	36	37	36	35	－	36	－
夜見 公民館	最高値	62	61	75	58	97	79	88	70	93	80	73	－	97	108
	最低値	41	41	41	42	42	41	42	41	42	35	29	－	29	28
	平均値	44	44	45	46	47	45	45	45	46	45	43	－	45	－
彦名 公民館	最高値	46	46	53	44	71	61	64	51	70	59	53	－	71	85
	最低値	30	30	30	30	30	30	31	31	31	27	22	－	22	22
	平均値	34	34	34	33	35	34	35	34	35	34	33	－	34	－

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(R02～R06)の最小値から最大値までの範囲。
 注2:全地点において電子式線量計に切り替えたため、令和8年2月12日を以って終了。

境港局



米子局

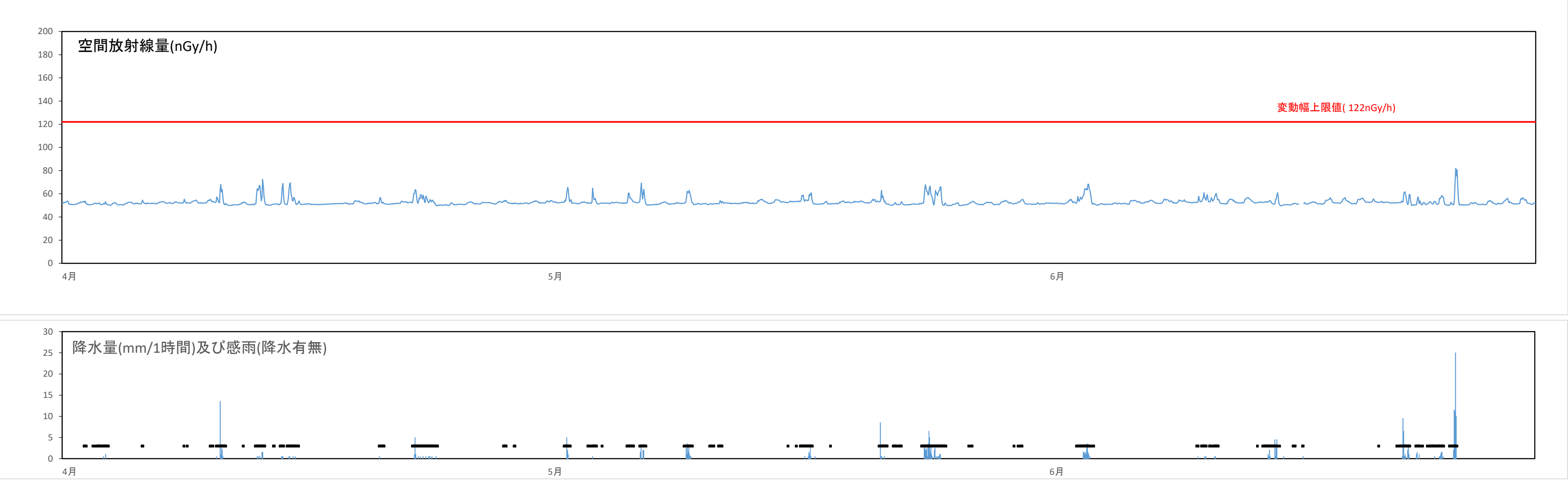
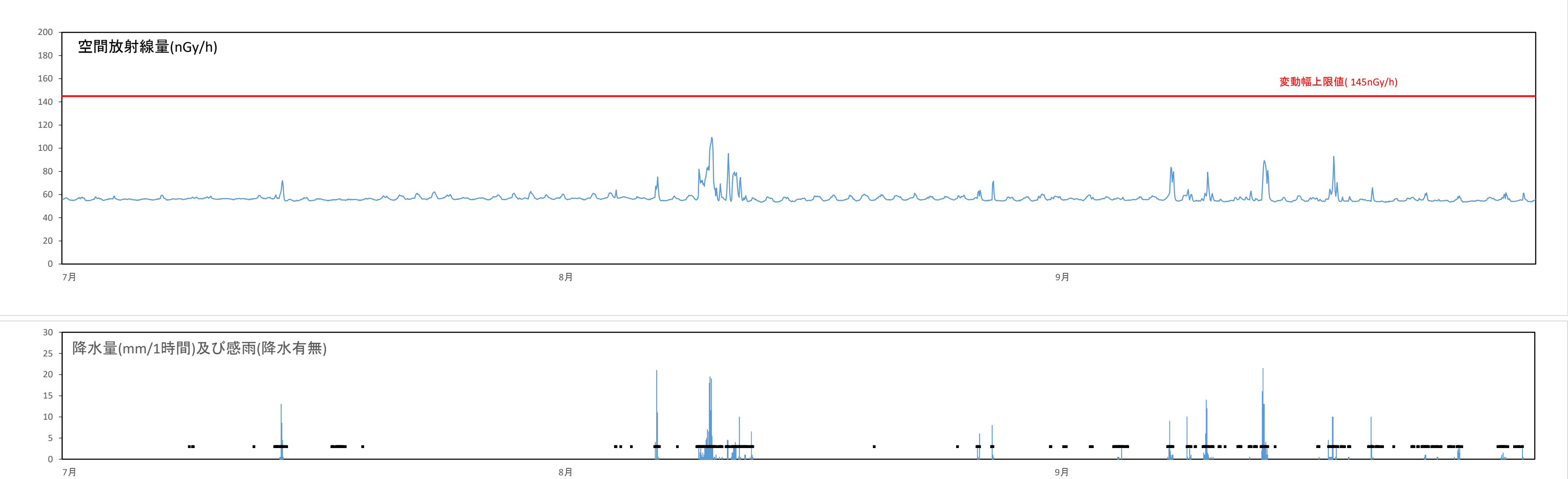


図 I －3－3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

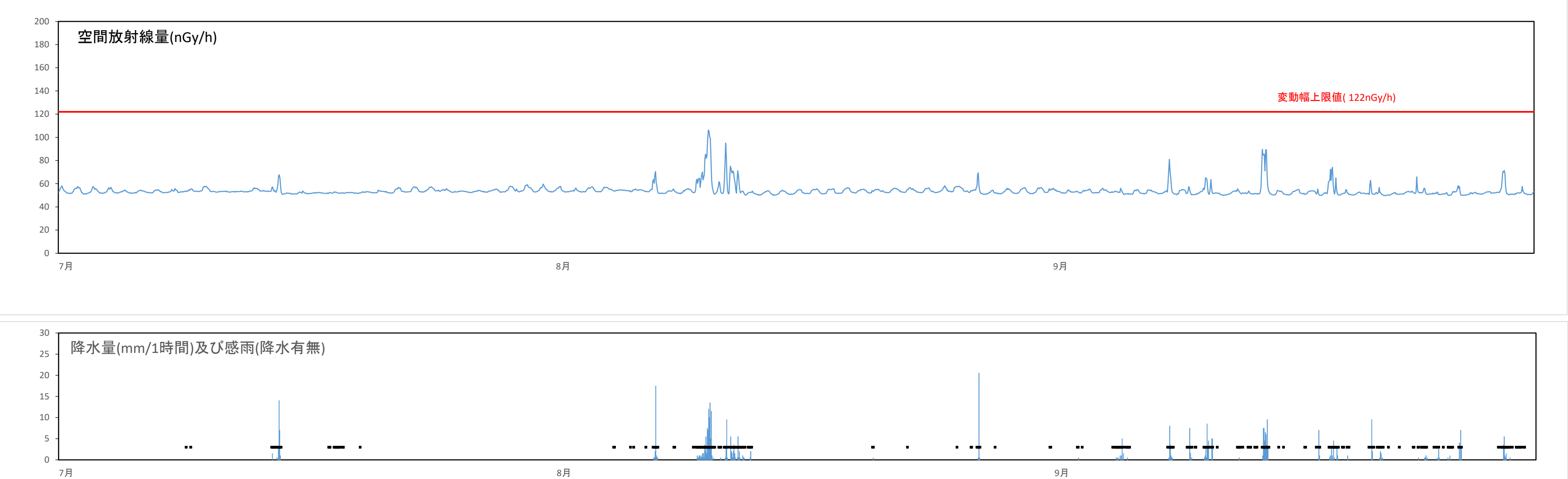
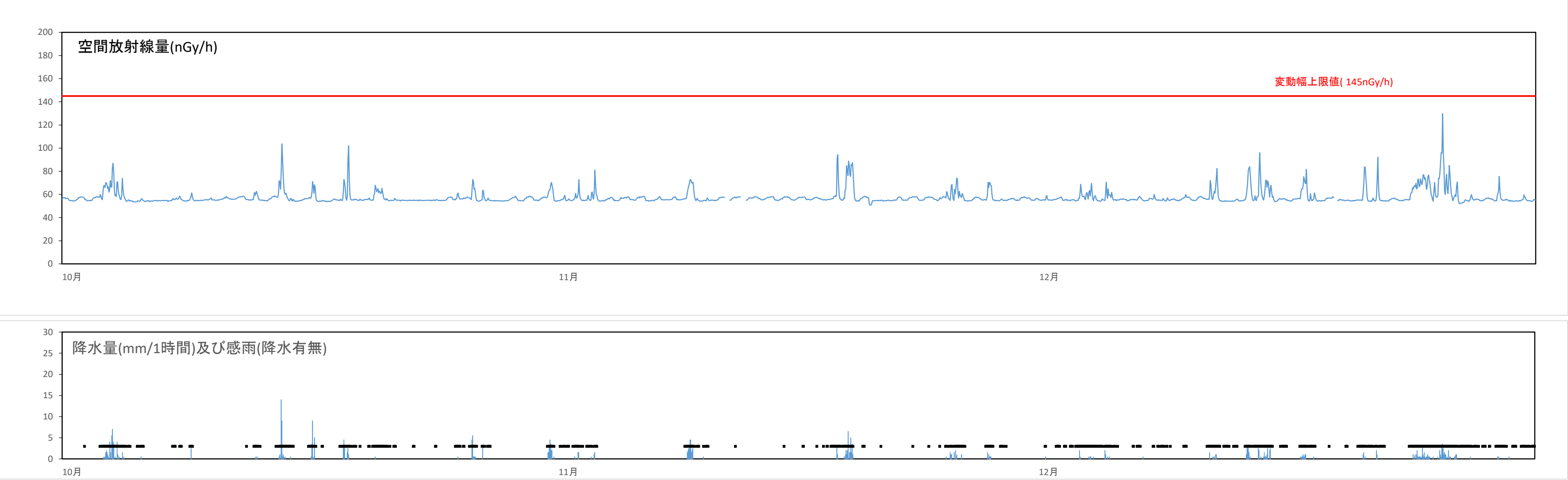


図 I － 3 － 3b 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第2四半期、1時間値)

境港局



米子局

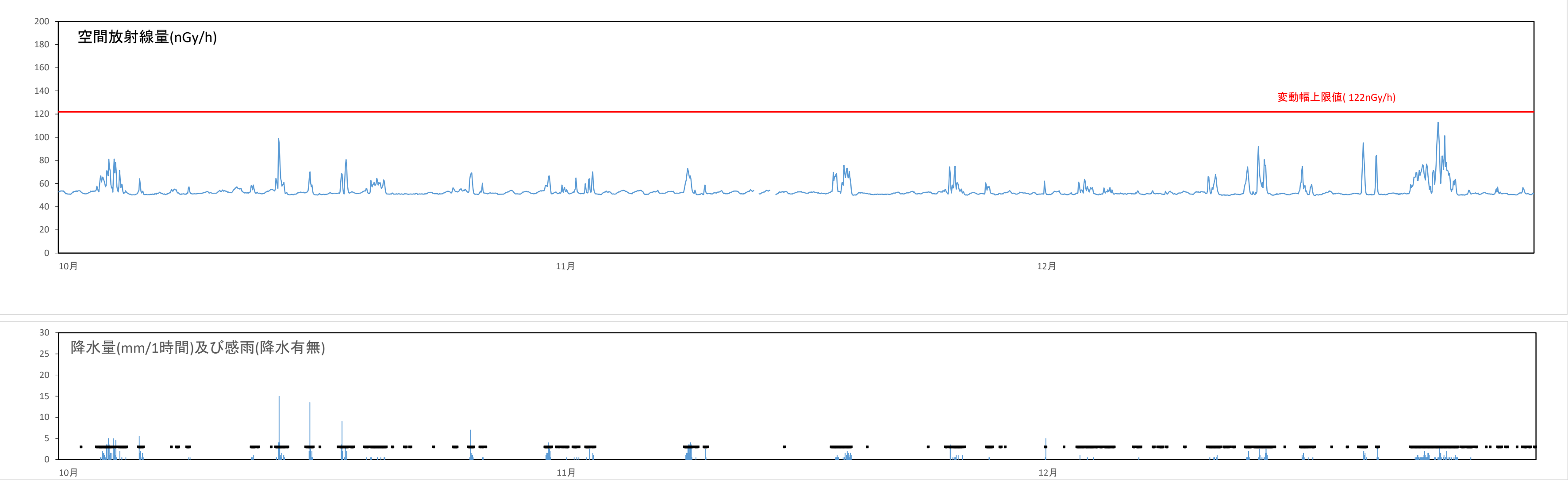
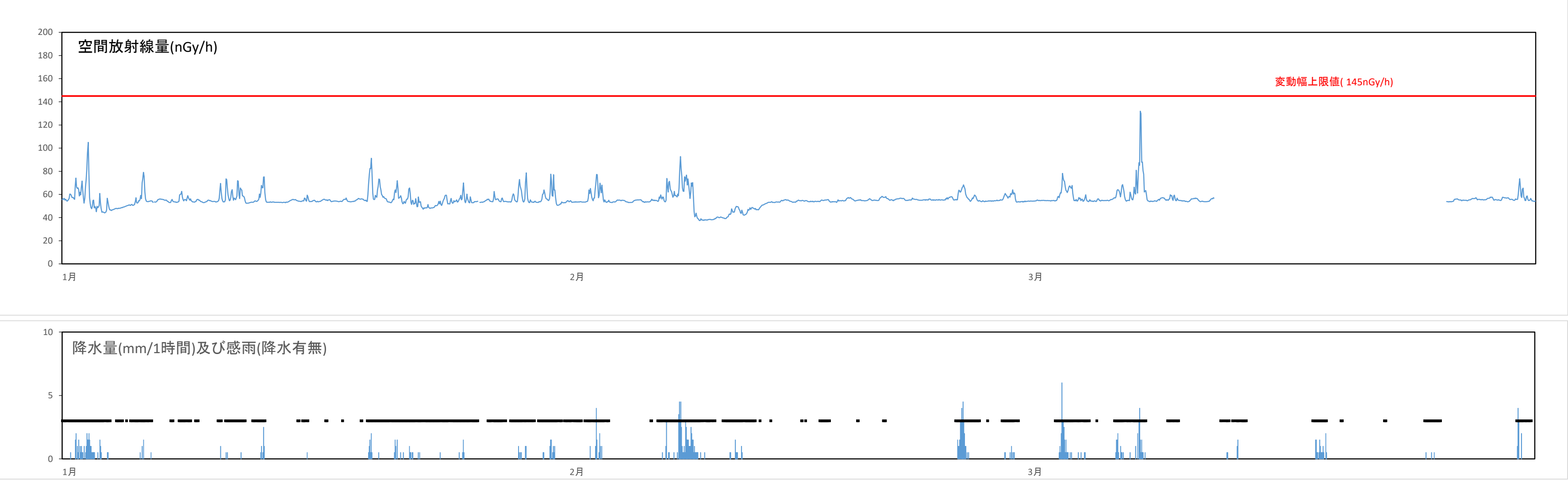


図 I－3－3c 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第3四半期、1時間値)

境港局



米子局

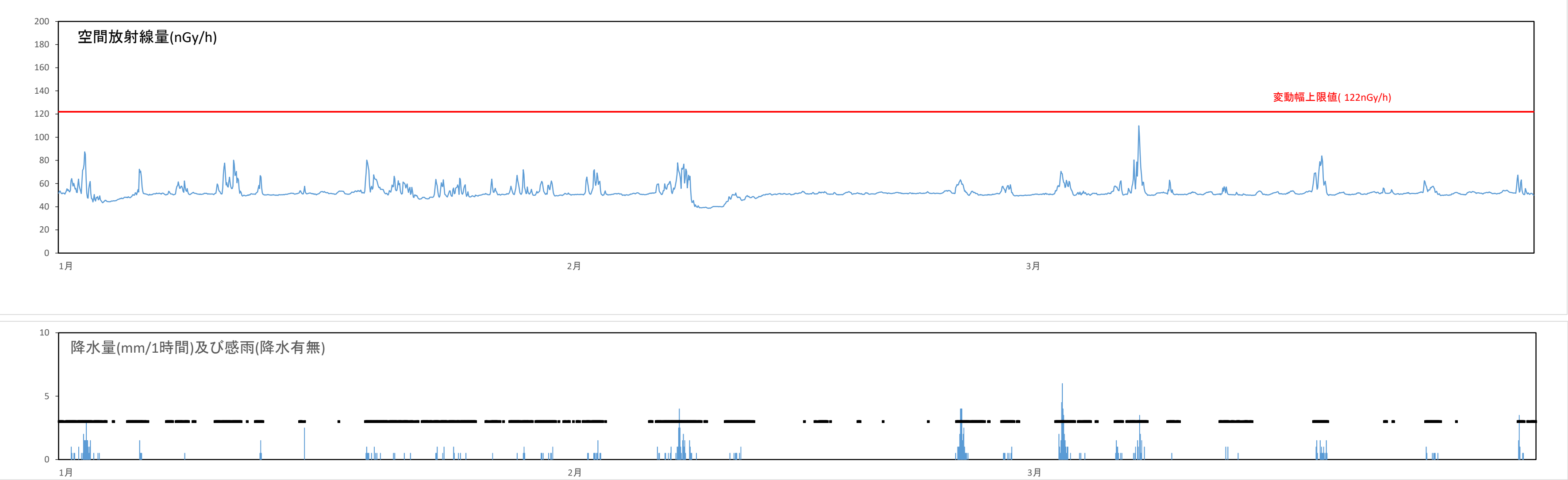


図 I －3－3d 空間放射線量率と降水量の関係(令和7年度第4四半期、1時間値)

(イ)積算線量測定

表 I－3－7 積算線量の測定結果

(単位:上段 $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段 $\mu\text{Gy}/\text{h}$)

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 (mGy/365d)
境港局	156 (0.072)	163 (0.075)	157 (0.073)	156 (0.072)	153 ～ 167 (0.071 ～ 0.077)	0.64
米子局	153 (0.071)	161 (0.075)	153 (0.071)	152 (0.070)	151 ～ 168 (0.070 ～ 0.078)	0.63
外江公民館	128 (0.059)	<u>136</u> (0.063)	131 (0.061)	— 注5 —	126 ～ 135 (0.058 ～ 0.063)	0.40
余子公民館	138 (0.064)	147 (0.068)	142 (0.066)	— 注5 —	136 ～ 148 (0.063 ～ 0.069)	0.43
中浜公民館	140 (0.065)	<u>149</u> (0.069)	137 (0.063)	— 注5 —	137 ～ 148 (0.063 ～ 0.068)	0.43
和田公民館	149 (0.069)	<u>157</u> 注4 <u>(0.073)</u>	<u>138</u> 注4 <u>(0.064)</u>	— 注5 —	144 ～ 156 (0.067 ～ 0.072)	0.15
彦名公民館	154 (0.071)	160 (0.074)	156 (0.072)	— 注5 —	151 ～ 161 (0.070 ～ 0.075)	0.48
渡公民館	140 (0.065)	149 (0.069)	144 (0.067)	150 (0.069)	140 ～ 152 (0.065 ～ 0.076)	0.59
崎津公民館	141 (0.065)	148 (0.069)	142 (0.066)	149 (0.069)	141 ～ 151 (0.066 ～ 0.070)	0.59

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R06年度)とする。

注2:下段()内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したもの。

注3:下線部は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

注4:和田公民館の第2及び第3四半期については、収納箱の修繕の影響が疑われるため、参考値とした。

注5:5地点の公民館(外江,余子,中浜,和田,彦名)については、可搬型モニタリングポストから電子式線量計への切替えに併せて、積算線量計を撤去したため、第3四半期を以って終了した。

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	1,146	942	1,380	1,350	1,173	1,058	995	1,384	1,280	1,214	1,229	1,466	1,466	1,616
		最低値	21	28	28	22	32	22	33	53	32	42	11	22	11	6
		平均値	248	218	284	218	283	199	220	439	337	256	338	314	280	
	米子局	最高値	1,094	1,360	1,814	1,702	753	528	1,335	1,149	1,305	1,249	1,129	1,445	1,814	1,798
		最低値	23	20	37	22	23	11	31	54	29	29	21	17	11	5
		平均値	269	254	371	222	215	127	235	410	320	250	297	309	273	
全 β 放射能	境港局	最高値	3,141	2,674	3,426	3,540	3,001	2,691	2,546	3,710	3,107	3,044	3,064	3,494	3,710	4,729
		最低値	53	76	79	52	85	52	85	133	81	103	29	52	29	18
		平均値	664	593	744	568	737	531	593	1,172	838	634	843	776	724	
	米子局	最高値	2,595	3,716	4,342	3,907	1,968	1,388	3,370	2,938	3,136	2,841	2,667	3,316	4,342	4,800
		最低値	51	52	101	54	61	32	75	132	69	75	50	38	32	18
		平均値	674	639	920	551	568	348	608	1,043	771	599	712	729	680	
全 β — 全 α	境港局	最高値	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	2.8	2.7	2.8	2.8	3.1	
		最低値	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	
		平均値	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	
	米子局	最高値	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	3.2	
		最低値	2.3	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	
		平均値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.7	2.7	2.6	2.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	

注1:3時間集じんし、3時間測定。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R02～R06年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（ γ 線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I - 3 - 9 大気（浮遊じん）の測定結果

（単位：mBq/m³）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 （暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.52	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.41	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	0.43	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.6	0.39	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.2	0.44	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.4	0.45	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.46	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.9	0.49	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.50	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.56	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.1	0.45	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.48	
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.43	ND ～ 0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.0	0.44	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.3	0.42	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.5	0.37	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	0.89	0.45	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.0	0.43	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.9	0.49	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.35	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.53	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.56	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.0	0.43	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.5	0.38	

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取（H24～29年度は月1回の24時間採取）

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H27～R06年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I - 3 - 10 降下物の測定結果

(単位: MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町 (境港局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	5.9	ND
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	97	2.1	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	54	ND	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	14	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	68	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	1.1	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	130	1.9	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	3.6	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	490	4.0	
	1月5日～2月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	280	4.8	
	2月2日～3月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	150	3.4	
	3月2日～4月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	2.5	
米子市河崎 (米子局)	4月1日～5月2日	ND	ND	ND	ND		ND	0.18	93	3.3	ND ～ 0.18 (注3)
	5月2日～6月2日	ND	ND	ND	ND		ND	<u>0.48</u>	98	6.3	
	6月2日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	57	2.9	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	16	ND	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	38	ND	
	9月1日～10月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	85	1.3	
	10月1日～11月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	3.1	
	11月4日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	100	2.8	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	320	3.8	
	1月5日～2月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	320	3.4	
	2月2日～3月2日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	3.2	
	3月2日～4月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	ND	

注1: NDは検出下限値未満を示す。

注2: 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間 (H27～R06年度) の最小値から最大値までの範囲とする。

注3: 米子局はH29年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R06年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I-3-11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	42	ND
			R07.11.04	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	48	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I-3-12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	15	42	0.18 ~ 0.79
		米子市夜見町	R07.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077	24	51	0.071 ~ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I-3-13 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	930	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-3-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	境港市昭和町地先 (美保湾)	R07.05.14	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	220	ND
			R07.11.12	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	240	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 3 - 15 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の 変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R07.10.24	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	19	0.13 ~ 0.22
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R07.12.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.37	63	ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	R07.12.09	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	52	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 3 - 16 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の 変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R07.04.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	190	ND
イワガキ	身		R07.07.07	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	74	ND
セイゴ	身		R08.01.26	ND	ND	ND	ND		ND	0.10	ND	130	0.10 ~ 0.20
ナマコ	身		R08.02.17	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	21	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I - 3 - 17 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	<u>0.32</u>	ND
				R07.11.04	ND	
海水	海水	表層水	境港市昭和町地先(美保湾)	R07.05.14	<u>ND</u>	0.14 ~ 0.18 (暫定値)
				R07.11.12	<u>ND</u>	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H27～R06年度)の最小値から最大値までの範囲とするが、海水(境港市昭和町)は測定開始から10年経過していないため、暫定値(R05～06年度)とする。

注3:下線部は、平常の変動幅の範囲外であることを示す。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I - 3 - 18 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	原水	米子市福市	R07.05.02	0.64	(R07～)	mBq/L
				R07.11.04	0.60		
土壌	公園	表層	境港市馬場崎町	R07.07.01	ND	0.30～0.43	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため、暫定値(土壌:H30～R06年度)とする。

4 令和 8 年度の平常の変動幅の設定について

令和 7 年度の測定結果を踏まえ、令和 8 年度の平常の変動幅を（１）～（３）のとおりに設定する。なお、測定計画の見直し等により、令和 7 年度までに測定終了となった測定項目の実績については、参考として（４）に示す。

○空間放射線量率連続測定、大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

過去 5 年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

○積算線量測定、環境試料の核種分析

過去 10 年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

（１）空間放射線

ア 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

（単位：nGy/h）

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H25)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
境港局	35 ～ 145	R05.11.18 8:00	34 ～ 145	R05.11.18 8:00
米子局	37 ～ 122	R04.07.19 10:00	34 ～ 146	H27.12.17 21:00

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの 5 年間（R03～R07 年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

（２）大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定（固定型モニタリングポスト）

測定地点	全 α 放射能(mBq/m ³)		全 β 放射能(mBq/m ³)	
	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値
境港局	6 ～ 1,616 (R05.08.12 08:00)	6 ～ 2,124 (H26.04.16 10:00)	18 ～ 4,729 (R05.08.12 08:00)	18 ～ 5,584 (H30.07.20 08:00)
米子局	5 ～ 1,814 (R07.07.02 09:00)	5 ～ 2,481 (H26.06.02 10:00)	18 ～ 4,800 (R04.11.17 11:00)	17 ～ 5,920 (H30.08.03 08:00)

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの 5 年間（R03～R07 年度）の最小から最大値までの範囲とする。

※ 各項目の測定は H26 年度から開始した。

※ 数値の下の（ ）は最大値の検出年月日 時刻を示す。

(3) 環境試料中の放射性核種分析
ア ガンマ線スペクトロメトリー

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Cs-137			測定 期間
				平常の変動幅	測定開始からの 最小から最大値	単位	
大気 浮遊じん	—	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/m ³	H24～ R07
			米子市河崎	ND ～ 0.010 (R03.12)	ND ～ 0.010 (R03.12)		
降下物	—	—	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	MBq/km ²	H25～ R07
			米子市河崎	ND ～ 0.48 (R07.5)	ND ～ 0.48 (R07.5)		H29～ R07
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	ND (-)	ND (-)	mBq/L	H24～ R07
			米子市河崎	ND (-)	ND (-)		
		原水	米子市福市	ND (-)	ND (-)		
植 物	松葉	二年葉	境港市幸神町	0.18 ～ 0.79 (R03.10)	0.16 ～ 0.79 (R03.10)	Bq/kg 生	H24～ R07
			米子市夜見町	0.073 ～ 0.18 (R04.10)	0.050 ～ 0.18 (R04.10)		
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 乾土	H24～ R07
	グラウンド		米子市河崎	ND (-)	ND (-)		
海水		表層水	米子市昭和町地先 (美保湾)	ND (-)	ND (-)	mBq/L	R05～ R07
			米子市大篠津町地先 (美保湾)	ND ～ 2.1 (R01.11)	ND ～ 2.2 (H25.12)		H24～ R07
農 産 物	米	精米	米子市夜見町	0.10 ～ 0.22 (H30.10)	0.10 ～ 0.28 (H26.10)	Bq/kg 生	H26～ R07
	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)		H25～ R07
	ダイコン	根	境港市中海干拓地	ND (-)	ND (-)		
海 産 生 物	ワカメ	可食部	境港市近海	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 生	H26～ R07
	イワガキ	身		ND (-)	ND (-)		
	セイゴ	身		0.10 ～ 0.20 (R07.02)	0.10 ～ 0.20 (R07.02)		H26～ R07
	ナマコ	身		ND (-)	ND (-)		H25～ R07

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とする。

※ 測定開始から10年経過しない項目は暫定値とする。

※ 数値の下の()は最大値の採取年月を示す。

イ トリチウム分析

項目区分/ 試料		部位	採取地点	H-3			測定期間
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	ND ～ 0.47	Bq/L	H27.05	H27～R07
			米子市河崎	ND ～ 0.37		H28.05, R06.05	
		原水	米子市福市	ND ～ 0.32		R07.05	
海水		表層水	米子市大篠津町地先 (美保湾)	ND ～ 0.39		H27.11	H27～R06
			境港市昭和町地先 (美保湾)	ND ～ 0.18		R05.06	R05～R07

※ 海水（境港市昭和町）の「平常の変動幅」は、測定開始から10年経過しないため、暫定値とする。

ウ 放射化学分析（ストロンチウム）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Sr-90			測定期間
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	水道水	蛇口水	境港市上道町	1.0, 1.1	mBq/L	R05.06	R05
			米子市河崎	0.73 ～ 0.78		R06.11	R06
			米子市福市	0.60 ～ 0.64		R07.05	R07
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	ND ～ 0.43	Bq/kg	R03.07	H30～R07
	グラウンド		米子市河崎	ND ～ 0.47	乾土	R01.07	

※ 「平常の変動幅」は、各地点における10年間の最小から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため、暫定値とする。

エ 放射化学分析（プルトニウム）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Pu-238	Pu-239+240	単位	採取年月
土 壌	公園	表層	境港市馬場崎町	ND	ND	Bq/kg 乾土	R01.07
	グラウンド		米子市河崎	ND	0.029		
	公園	下層	境港市馬場崎町	ND	ND		
	グラウンド		米子市河崎	ND	0.027		

※ 「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）、平成30年4月、原子力規制庁監視情報課」に基づき、実施範囲全域において最低1回の調査を行ったもの。

(4) 令和7年度までに測定終了した測定項目【参考】

ア 空間放射線量率連続測定（可搬型モニタリングポスト）

（単位：nGy/h）

測定地点	測定期間 (H26～R07)		備考
	最小値から最大値	最大値の発生日時	
外江公民館	19 ～ 104	H27.12.17 20:00	電子式線量計への切替えに伴い R8.2.12 測定終了
余子公民館	21 ～ 107	R05.11.13 09:00	
中浜公民館	26 ～ 99	H27.12.17 21:00	
大篠津公民館	28 ～ 107	H29.01.23 07:00	
和田公民館	23 ～ 111	H27.12.17 21:00	
夜見公民館	28 ～ 135	H27.12.17 21:00	
彦名公民館	22 ～ 99	H27.12.17 21:00	

イ 積算線量測定

（単位：μGy/90d）

測定地点	測定期間 (H28～R07)		備考 (欠測期間)
	最小値から最大値	最大値の発生日月	
境港局※ ¹	153 ～ 167 (150 ～ 188)	R06.7～9 (H28.7～9)	R5.10～12(測定に供されない期間あり)
米子局	151 ～ 168	H28.4～6	R2.4～6(定期点検の影響) R5.10～12(測定に供されない期間あり)
外江公民館	126 ～ 136	R07.7～9	R07.1～3(機器更新に伴う撤去)
余子公民館	136 ～ 148	H28.4～6	R07.1～3(機器更新に伴う撤去)
中浜公民館	137 ～ 149	R07.7～9	R07.1～3(機器更新に伴う撤去)
和田公民館	144 ～ 156	H28.4～6, R05.10～12	R07.7～12(収納箱の修繕等の影響) R07.1～3(機器更新に伴う撤去)
彦名公民館	151 ～ 161	H28.4～6, H28.7～9, R05.10～12	R07.1～3(機器更新に伴う撤去)
渡公民館※ ²	140 ～ 152 (140 ～ 165)	R02.1～3 (H28.7～9)	
崎津公民館	141 ～ 151	R02.1～3	

※1 境港局は H30 年度及び R02～R04 年度にかけて周辺環境変化があったため、R05～R07 年度実績とする（参考として、H28～R07 年度変動幅を括弧内に記載）。

※2 渡公民館は H29 年度に周辺環境変化があったため、H30～R07 年度実績とする（参考として、H28～R07 年度変動幅を括弧内に記載）。

ウ 環境試料中の放射性核種（ γ 線スペクトロメトリー）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Cs-137			測定 期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	池水	表層水	境港市小篠津町	ND	mBq/L	—	H24～R04
土 壌	公園	下層	境港市馬場崎町	ND	Bq/kg 乾土	—	H24～R04
	グラウンド		米子市河崎	1.6		H24.7	
海水		表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND	mBq/L	—	H24～R04
海底土		表層 底質	米子市葭津地先	ND ～ 8.0	Bq/kg 乾土	H25.10	H24～R04
			米子市大篠津町地先	ND ～ 0.90		R02.11	
農 産 物	ダイコン	葉	境港市中海干拓地	ND	Bq/kg 生	—	H25～R04
	牛乳	原乳	米子市和田町	ND	Bq/L	—	H25～R01

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

項目区分/ 試料		部位	採取地点	H-3			測定期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	池水	表層水	境港市小篠津町	ND ～ 0.69	Bq/L	H27.11	H27～R04
海水		表層水	米子市葭津地先 (中海)	ND ～ 0.48		H27.10	H27～R04

オ 環境試料中の放射性核種（放射化学分析（ストロンチウム））

項目区分/ 試料		部位	採取地点	Sr-90			測定期間
				測定開始からの 最小から最大値	単位	最大値の 採取年月	
土 壌	公園	下層	境港市馬場崎町	0.31 ～ 0.45	Bq/kg 乾土	R04.07	H30～R04
	グラウンド		米子市河崎	0.23 ～ 0.45		R01.07	
農 産 物	白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	0.013 ～ 0.025	Bq/kg 生	R04.12	R01～R05